

取扱説明書

モノタロウ 軽量ラック 120kg

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
下記の注意事項をお守りいただき、正しい方法で組立て、ご使用ください。

本書は大切に保存してください。

本製品を第三者に譲渡、貸し出しを行う際は、本書を添えてお渡しく下さい。

耐荷重は棚1段あたり最大120kg(等分布平均荷重)です

警告 この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

- 最大荷重を超過して載積しないでください。棚本体が転倒したり、傾いて荷物が落下し、けがをすることがあります。
- 安全保安部品(コーナプレート・ボルトナットなど)をはずして使用しないでください。事故によってけがをすることがあります。
- 廃棄をするときは、専門業者におまかせください。

注意 この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は傷害または物的損害が発生する可能性があります。

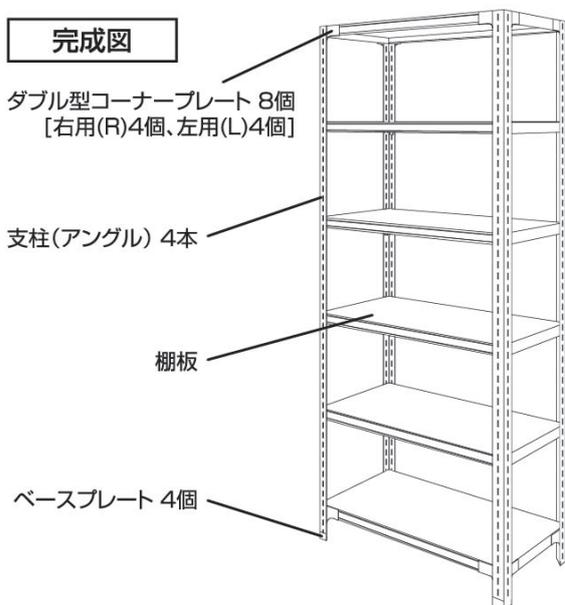
- 集中荷重をかけたり、耐荷重より重いものを載せないでください。棚1段あたりの耐荷重は等分布荷重です。集中荷重をかけたり、耐荷重より重いものを載せると棚板がたわみ荷物が落下し、けがをすることがあります。
- 足を掛けたりよじ登ったりしないでください。転倒してけがをしたり棚が変形することがあります。
- 荷物を放り投げて載せないでください。棚板がたわみ、荷物が落下し、けがをすることがあります。
- 最上段の棚板に荷物を載せないでください。棚本体が倒れ、荷物が破損したり、けがをすることがあります。
- 棚本体に寄りかからないでください。棚の積載物・積載量によって、棚が倒れけがをすることがあります。
- 本製品の孔に指を入れないでください。孔に指を入れると、けがをすることがあります。特に小さなお子様はお気をつけください。
- 危険物(薬品・壊れ物など)を収納しないでください。人体や衣服などに傷をつけることがあります。
- ボルトやナットがゆるんだまま、使用しないでください。(定期的に点検してください) 棚本体が壊れてけがをすることがあります。
- 上下を確認のうえ、正しく使用してください。棚板を逆向きに使用すると、けがをすることがあります。
- 最上段の棚板は支柱の上端に必ず取付けてください。支柱の角でけがをすることがあります。
- 異常を発見したまま使用しないでください。棚本体が壊れてけがをすることがあります。
- 分解禁止。分解組立は専門業者にお任せください。転倒などの事故のおそれがあります。
- 用途以外で使用しないでください。転倒してけがをすることがあります。

材質

- 支柱・棚板 スチール製(メラミン樹脂焼付塗装)
- ダブル型コーナプレート スチール製(メッキ鋼板)
- ボルトナット・ドライバー・ベースプレート スチール製(ユニクロメッキ)

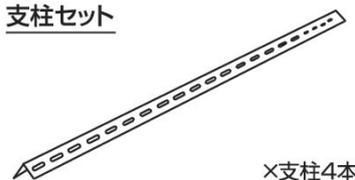
本書に従って正しく組立てを行ってください。金属製品なので取扱いには十分注意し、手袋などの保護具を使用して行ってください。また、完成後は注意事項をお守りいただき正しくご使用ください。

完成図

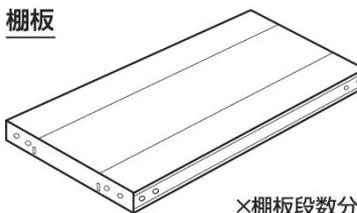


1台セット内容

支柱セット

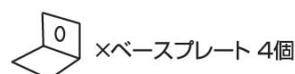


棚板



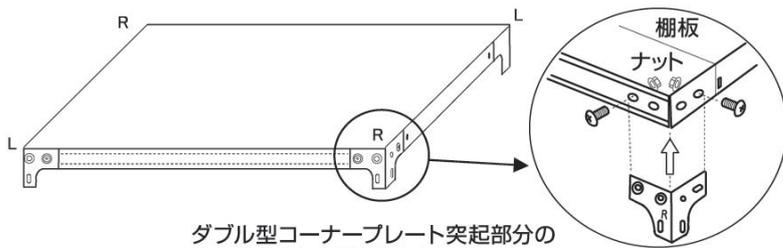
部品類

ダブル型コーナプレート



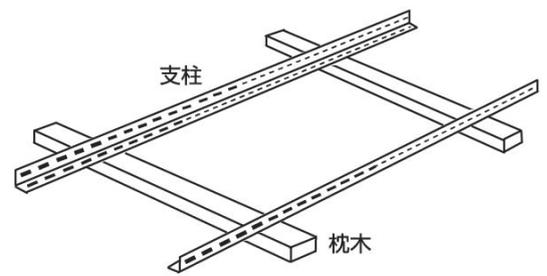
※組立ては必ず広い場所で行ってください。

1 棚板コーナー部にダブル型コーナープレートを取付け、(刻印R、Lが間口側)ビスで固定します。それぞれ四角に取付け、この棚板を2枚分(最上段・下段)組立ててください。



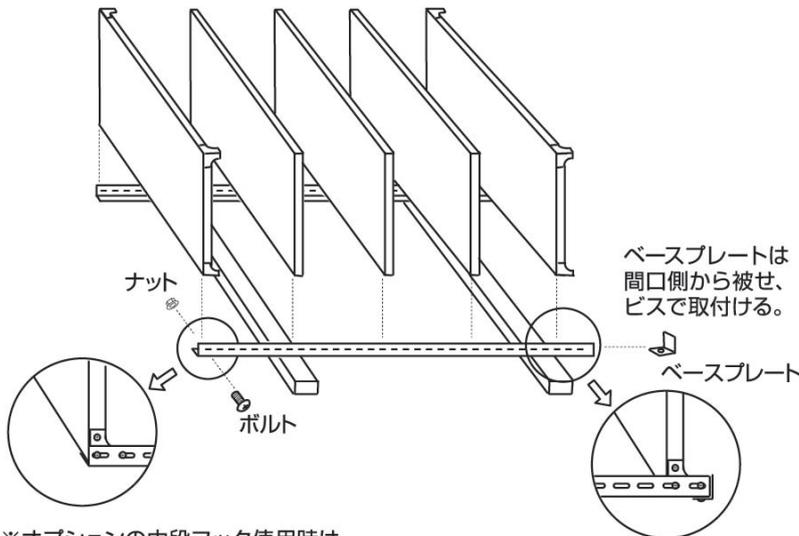
ダブル型コーナープレート突起部分の穴を棚板間口側窪みの穴に合わせ、角から遠い方の穴をビスで止める。

2 支柱を向い合せに床に並べ、ビスが止めやすいように枕木などを敷いてください。



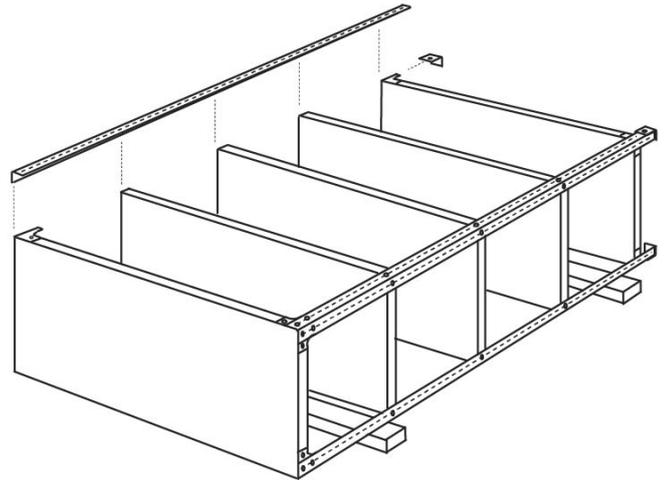
※床や製品の傷防止に梱包ダンボールを床に広げてお使いください。

3 支柱に棚板を仮止めします。最上段および最下段は**1**で組立てた棚板を使い、最上段は支柱端と同一面に、最下段は下から2つの孔にセットしてください。また、最下段はベースを支柱外側から共締めにてセットしてください。その後、中段棚板をビスで仮止めしてください。(中段フック使用時は**5**にて)



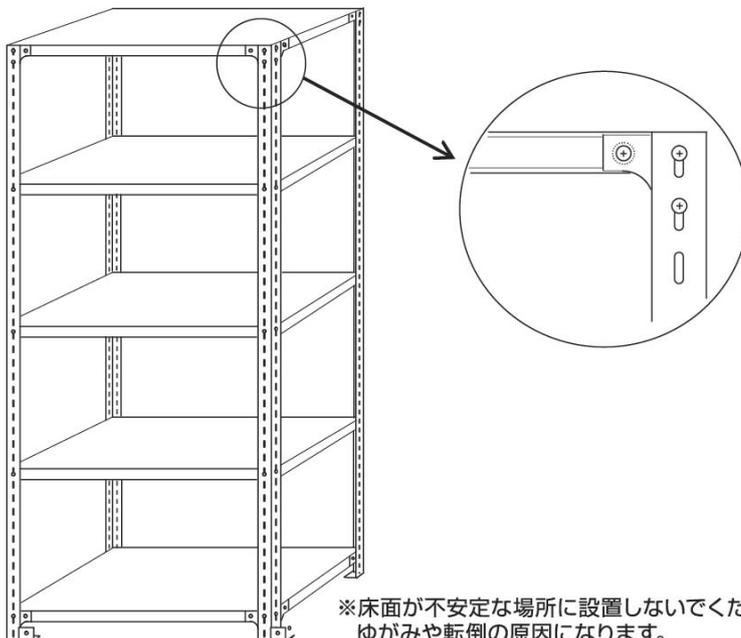
※オプションの中段フック使用時は上下段棚板のみを取付け、次へお進みください。

4 残りの支柱2本も組立てる。その後、棚のゆがみに注意しながら立起こす。



※立起こしの際は複数の方での作業を推奨します。棚のゆがみや転倒の危険などが少なくなります。

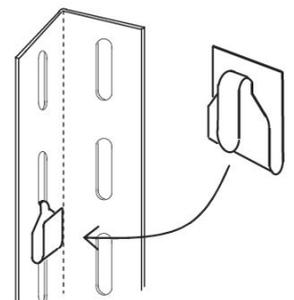
5 全体のバランスを取りながら、各々ビスを増し締めしてください。なお、ビスの締めりが緩い状態で使用するとゆがみや転倒の原因になります。※最後に必ずビスの締め忘れが無いか確認してください。



※床面が不安定な場所に設置しないでください。ゆがみや転倒の原因になります。

●中段フック(オプション)

中段の棚板をビス止めせず、簡単に棚板が取付け可能なフックです。棚板段ピッチの変更が容易に行えます。(4個/段)



支柱内側